

モンサンミッシェル、カトリックの巡礼地の一つ。
説明によれば、フランス西海岸、サン・マロ湾上に浮かぶ小島、
及び、その上にそびえる、修道院であると。
潮の干満が最も激しい所で、満ち引きの差が15メートル以上と説明にある。

満潮が押し寄せるのは、満月と新月。潮の干満時刻には、浜におりないこと。
引き潮で、18キロまで引いた潮が、猛烈な速度で、
押し寄せ、巡礼者が命を落としたとある。
モンサンミッシェルに行くなら、遺書を書いてから行け！という言い伝え。

また脱線。2018年度版、新月・満月、中央標準時では、
満月が13回、新月が12回。2018年12月、
新月は、7日（金）16：20。満月12月23日（日）02：49。
研究されている人が、おられる。敬意を表したい。
旅の途上のお月さまの目撃は格別なもの。

話を元に戻して、こんなことをしているから、
時間がどんどん過ぎて行ってしまう。
寒さもなんのその。城門にたどり着くまで、楽しんだ。
自然は、想定外のいたずらをする。それも面白く、興味が尽きない。

山はみどり 野に花 人には心



欧州取材旅